



## いよいよ練習の成果を発揮するとき 校内合唱祭

2学期の重点目標である「全員がリーダー 全員がフォロワー」を毎日実感しながら、各学級で音楽の授業、昼休み、放課後に懸命に練習に励んだ合唱も明日が本番となりました。各学級、練習の成果を十分に発揮してくれるものと思います。

明日の保護者の入場時刻、駐車場、昼食時の退館のお願い、体調記録表等につきましては、先日お知らせしていたとおりです。再度御確認願います。

心配されるのが気温です。11月は朝晩の寒暖差はありましたが、日中は暖かい日が続いていました。明日の最高気温は15℃と予想され、急激に寒くなるそうです。生徒たちには、マフラー、防寒着、ひざ掛け、座布団、カイロなどを持参するなど、防寒対策をするように指導しています。御家庭でもお声掛けをお願いします。また、合唱祭の翌日は一層冷え込みが厳しくなり、最高気温は12℃と予想されています。行事のあところ、元気に過ごしたいものです。準備万端で合唱祭を迎えられるように協力をお願いします。

### 11月30日(水) 日程

平常登校

9:05 学校出発

10:05 開会行事

10:20 1年生合唱

11:30 2年生合唱

12:30~12:45 昼食(弁当)

12:45~13:30 休憩

13:30 3年生合唱

14:50 閉会行事・片づけ

15:30 アリーナ出発

※伊勢町公園で解散

## 感染症予防対策強化！

新型コロナウイルス  
インフルエンザ  
ノロウイルス

### 感染症予防の徹底

<p>毎朝自宅で検温</p> <p>検温表</p> <p>平熱 + 1度 &lt; 風邪症状</p> <p>↓</p> <p>登校を控える</p>	<p>教室の常時換気</p> <p>教室の上側窓 4か所</p> <p>常時 15cm</p>	
<p>マスクの着用</p> <p>屋内、 会話時 は着用</p>	<p>手洗い・消毒</p> <p>こまめに 登校時 外から入室 給食前 掃除後 トイレ後など</p>	<p>黙食</p> <p>静かに味わう</p>

新型コロナウイルス感染症については、第8波の到来が懸念されています。県内でも感染者数が増え、10代の感染者数の増加が心配なところです。また、これからは、インフルエンザウイルス、ノロウイルスの感染にも気を付けなければならない季節となりました。対策としては、これまでどおりですが、校内では左のポスターに載っていることを重点的に徹底していきます。

規則正しい生活で体力をつけることが健康維持の基本です。そのうえで十分な対策を講じることがより効果的です。朝からお子様の体調が悪いときは、無理をせず、休養をとるようにしてください。みんなで冬を乗り切るため、引き続き御協力をお

願います。

**健康維持には 睡眠・水分補給・栄養補給も大切です！**

# 12月の行事予定

- 3日(土)English performance contest  
(イングリッシュパフォーマンスコンテスト)  
10:00～ 大村市コミュニティセンター第3会議室  
2年 吉田葵さん・宅島湊子さん  
が出演します。
- 5日(月)メディアコントロール学習
- 6日(火)性教育講話【3年 5,6校時】
- 8日(木)生徒会役員選挙
- 9日(金)PTA研修会 19:30～ 図書室
- 12日(月)性教育講演会【1・2年 5,6校時】
- 16日(金)大村市学力調査  
【1・2年 国語・英語・数学】
- 18日(日)家庭の日
- 19日(月)学級・全校専門委員会
- 20日(火)1年生授業参観・PTA
- 21日(水)2年生高校説明会・PTA
- 22日(木)大掃除・生徒集会
- 23日(金)終業式…4校時終了後下校  
給食なし
- 12月28日(水)～1月4日(水)は学校閉庁期間となります。

十二月のことを師走(しわす)と言います。万葉の頃から「しはす」と読んでいた記録があるそうです。お坊さんが走るからといった俗説もありますが、「し」は仕事・成すこと・年・四季などの意味があり、「はす(わす)」は果つるとして解釈されていることのようにです。十二月の異なる呼び方に「年満月(としみづき)」というのがあります。年が終わるのではなく、様々な思いや出来事で一年が満たされていたと考えると、更に良い年であったと言えるように、あわただしの中にも残りの一か月でやるべきことが見えてくるような気がします。大村中学校の生徒たちが、一年の締めくくりの月を満ち足りた気持ちで過ごせるように努めます。

## 「はきものをそろえる」

はきものをそろえると心もそろろう  
心がそろうとはきものがそろろう  
ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心が乱れない  
誰かがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世の中の人の心もそろうでしょう

この詩は、長野県の円福寺の住職 藤本幸邦さんがつくった詩です。履物をそろえる文化が根付いている国は多くはありません。日本では、“躰(しつけ)”としてこの文化が受け継がれています。

本校においても、トイレのスリッパは次に使う人のために、並べようと生徒たちは心がけています。時には人が乱したスリッパを並べてくれる生徒もいます。

今日は、久しぶりに生徒が傘を持って登校しました。朝早く登校した生徒の傘を向きをそろえて並べていたところ、後から登校した生徒が「いつもと違う…」とつぶやき、並べて入れる生徒もいれば、気づくことなく傘を投げ入れる生徒もいました。たかが傘、されど傘。履物をそろえることと同じで、傘が倒れたり、もつれて取り出しにくくならないようにそろえて入れることが当たり前になる人をこれからも育てていきたいと思えます。



11/29 整頓後の傘立て

## 年満月

